

# 田原小だより

第661号

令和2年5月1日  
台東区立田原小学校  
校長 白井 正之

## 「多様な学び方」

副校長 松井 啓史

校庭の立派なソメイヨシノもすっかり葉桜となりました。4月より本校の副校長に着任いたしました。未だに田原小の子供たち、保護者や地域の皆様にお会いできないことをとても残念に思います。一日でも早く学校に子供たちの元気な声が響くのを待ち望みつつ、精いっぱい頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

先日、「落とし物在中」と書かれた封筒が届きました。中には子供の名札と「交差点に落ちていました。このご時世ですので郵送にてお届けします。」という内容のお手紙が入っており、温かいお心遣いをうれしく思いました。人と人とが距離を取らなければならないときだからこそ、相手を思いやる心、温かい言葉がけが大切だと感じさせられました。

本年度から新しい学習指導要領による教育が完全実施となり、教員も「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに向けて研修を深めています。しかし、もうしばらく臨時休業が続きます。御家庭での学習になりますが、だからこそ多様な学び方が必要になってきます。その一つは、「自分で解決する学び」です。各学年から出された学習課題には、新学年の内容も含まれています。授業で友達や先生と一緒に考えながら学ぶものを一人で考えるため、特に算数では難しい課題もあるかと思いますが、教科書をじっくりと読みながら粘り強く自分で解決してほしいと思います。もちろん、学校が始まってから授業で学習しますのでわかる範囲で構いません。もう一つは「興味をもったことを追究する学び」です。私は小さいころ歴史が好きだったので、6年生で学習をする前から学習漫画を読んだり、歴史に関するテレビを見たりしました。今はNHK for Schoolや様々なホームページで好きな課題を選んで学ぶことができます。ぜひ自分の好きなことを進んで学んでほしいと思います。長い臨時休業となりますが、成長した子供たちと会えるのを楽しみにしています。引き続き保護者の皆様の御協力をよろしく願いいたします。

## 生活指導部より

生活指導部 田中 久枝

保護者の皆様、毎日のお子様の健康管理をありがとうございます。元気に過ごしているのでしょうか。いつも笑顔いっぱいの子供たちに会えない日々が続く、とてもさみしく思います。始業式、入学式も行われなまま5月になってしまいましたが、各学年で出された課題にも一生懸命取り組み、規則正しい生活を送ってくれることを期待しています。

5月の生活指導月目標は「正しい言葉づかいで話そう」です。具体的には、①心のこもったあいさつをしよう ②正しい姿勢であいさつをしよう ③相手の目を見てあいさつをしよう ④ていねいな言葉を使って話そうの4つの項目があげられます。

学校が再開した時には、1年のスタートとして、礼儀正しく、また気持ちのよいあいさつが誰にでもできる田原っ子になれるように、この休校期間中に御家庭でも「あいさつ」や「言葉づかい」について話題にしていただき、毎日の習慣として実践していただけるとうれしいです。どうぞよろしく願いいたします。

### 5月の行事予定

5月の行事予定は、国や都の指針が示されてから学校ホームページにて公開します。右のQRコードや下のURLから学校ホームページをご確認ください。

<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310229>

